

# まるもり 議会だより

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第252号



2020. AUG  
令和2年8月1日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



「この日を待っていました」 不動尊公園キャンプ場再開

## 6月議会

災害復旧関連予算8億8千万円可決 ..... 2ページ

一般質問 7名の議員が町政を問う ..... 4ページ

議会の要望に町長が回答しました ..... 12ページ



まあるい森の里からごんにちわ

# 災害復旧関連予算8億8千万円可決

## 6月議会のあらまし

6月議会定例会は、6月9日から11日まで3日間の日程で開催しました。

議会では、令和元年度一般会計繰越明許費※など6件の報告のほか、条例の制定や一部改正、各種会計補正予算等の議案が提案されました。

慎重審議の結果、すべて原案どおり可決しました。一般質問には7名の議員が登壇し、災害からの復旧・復興、小学校の再編統合、コロナ禍における町の対応等について議員自らの考えを交え町長の考えをたずねなど、活発な議論を交わしました。

### ※「繰越明許費とは」

繰越明許費は、何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費について、翌年度1年間に限り繰越して使用することができるとのこと。

## 主な補正予算

### 住宅再建促進事業

3000万円

令和元年東日本台風で被災し、生活再建支援金の加算金受給対象で、町内に住宅を再建される方に対し、費用の一部を交付するための予算です。

住宅の建設・購入に最大100万円、土地を取得する場合は最大50万円を加算して交付します。

### 災害公営住宅等建設事業

1億5960万円

災害公営住宅と町営住宅（神明・竹谷）建替分の住宅の実施設計及び地質調査を委託するための予算です。

このほかに、町営住宅の解体及び金山住宅の修繕費

用として、2億7460万円を計上しています。

### 災害見舞金支給に

5600万円

令和元年東日本台風災害により死亡、又は住家が被災した世帯主に、災害見舞金を支給するための予算です。

支給件数は約1100件を見込んでおり、支給額は次のとおりです。

### 支給額

- ①町民が死亡（1人につき） 20万円
- ②住家が全壊又は流出 10万円
- ③住家が大規模半壊又は半壊 5万円
- ④住家が準半壊又は一部損壊 3万円

なお、住家の被害判定は、町が発行した「り災証明書」によります。

### 新型コロナウイルス対策に

5823万円追加

備蓄用のマスク購入等、コロナ対策のための予算です。

すでに、5月19日の臨時会では、次の新型コロナウイルス感染症対策事業を行うための予算として、14億7461万円を計上し、事業が実施されています。

・中小企業等へ感染症拡大防止協力金及び支援金の交付

- ・3割増商品券の発行
- ・子育て世帯臨時特別給付金に1万円を加算
- ・全世帯へマスク配布
- ・医療機関等へのマスク、消毒液の支給
- ・サーマルカメラの購入
- ・児童生徒及び教職員へ布マスク配布
- ・避難所トイレの照明スイッチを自動化
- ・全町民へ10万円の支給



町内での生活再建を決意した被災者新居（館矢間地区）

## 報酬・給料の減額条例可決

### 新型コロナウイルス感染症防止対策 財源の一助へ

台風災害に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い様々な影響が出ていることから、感染リスクの低減や町民の生活支援など、緊急に実施しなければならぬ事業へ充てるため、議員報酬減額と特別職（町長・副町長・教育長）の給料減額の議案を、原案どおり可決しました。

議長・副議長・議員  
月2万円減額

町長  
月10%減額

副町長・教育長  
月8%減額

減額期間は、議員・特別職ともに令和2年7月分から令和3年3月分までです。議員報酬は合計で約306万円、特別職の給与は合

計で約190万円の減額を見込んでいます。町議会はこのほかに、常任委員会の旅費等で296万円を減額しています。



コロナ対策のマスクをしっかりとつけて、給食配膳（詔天間小学校）

## 令和2年 第4回議会定例会

### 議 案 一 覧

6月定例議会ではすべての議案等を原案どおり可決しました。

報告1	令和元年度丸森町一般会計繰越明許費繰越計算書について
報告2	令和元年度丸森町一般会計事故繰越し繰越計算書について
報告3～4	令和元年度丸森町各特別会計繰越明許費繰越計算書について（公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）
報告5～6	令和元年度丸森町各会計予算繰越計算書について（病院事業会計・水道事業会計）
議案48	丸森町監査委員の選任につき同意を求めることについて（議選監査委員）
議案49～59	丸森町農業委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
議案60	丸森町鎮魂の日を定める条例制定について
議案61	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の特例を定める条例制定について
議案62	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に係る国民健康保険税の減免に関する条例制定について
議案63	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に係る介護保険料の減免に関する条例制定について
議案64	丸森町小規模山地災害対策促進事業分担金徴収条例制定について
議案65～68	丸森町各条例の一部を改正する条例制定について（町税条例・国民健康保険税条例・国民健康保険条例及び後期高齢者医療に関する条例・介護保険条例）
議案69	工事請負契約の締結について（2舗修第1号黒佐野線ほか3路線舗装修繕工事）
議案70～73	令和2年度丸森町各会計補正予算（一般会計・国民健康保険特別会計・公共下水道事業特別会計・病院事業会計）
発議2	丸森町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例を定める条例制定について
閉会中の継続審査について	
請願2の1	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、格差のない全国一律最賃制度の確立を求める政府に対する意見書採択の請願
閉会中の継続審査について	
請願2の2	筆甫小学校の廃止の方針を撤回し筆甫小学校の存続を求める請願

# 一般質問 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずめるものです。  
今回は7人の議員が質問しました。

頁	議 員	質 問 事 項
5	鈴木 美智子 議員	●学校再編と住宅再建築は
6	船山 俊一 議員	●コロナ禍での町の対応は
7	宮本 昭雄 議員	●安全と復興の両立を
8	一條 己 議員	●へこたれない町民のために
9	山本 明德 議員	●住民に寄り添った町政を
10	板橋 勇 議員	●1人10万円の支払い状況は
11	大槻 正儀 議員	●2次災害予防策を早急に



# 学校再編と住宅再建策は

## 町長 再編は令和4年度に延期



鈴木美智子 議員

**問①** 新型コロナウイルスの感染者が県内でも確認され、治療薬が確立されない状況下での、小学校の再編統合は賛同できない町民が多いと見る。また、筆甫地区からの学校存続を求める要望書にも配慮し、時期を見直すべきではないか。

**答①** 新型コロナウイルスへの保護者や町民の不安と、再び感染が拡大した際の学習活動への影響を、丸森町総合教育会議で協議し、再編時期を1年延期して令和4年4月にすることにしました。

**問②** 防災集団移転は出来ないとの説明があったが、実

現できるかは災害危険区域を指定する、町長の判断次第と考える。

特に台風被害の甚大な地域や、県の土砂災害警戒地域指定などの視点からも再検討が必要ではないか。

**答②** 浸水想定区域や浸水の深さ等の情報に基づく客観性、公平性の根拠の整理が必要なことや、移転希望者と現地再建希望者双方の合意形成に相当の時間を要し、早期の住宅再建に支障をきたすことなどから、災害危険区域の指定を見合わせた。防災集団移転を希望していた方々に配慮し、民間事業者と連携した宅地造成や補助金などで支援する。

**問③** 応急仮設住宅や、みなし仮設住宅で暮らす方々から、災害はいつ起こるかわからない、町外の安全な場所に移るべきかなどの迷いの声が聴かれ、台風被害での人口流失が心配される。河川などの復旧・復興計画と進捗状況を定期的に知

らせて、不安を軽減する取り組みが必要ではないか。

**答③** 国、県、町の復旧・復興事業担当者による連絡調整会議で進捗状況を確認し、町の広報紙やホームページ

を活用するなど、安心して町内で生活が再建できるよう、わかりやすく、タイミングをみながら発信していく。



子ども会育成会と小学校共催の「田植え体験」(筆甫地区)

# コロナ禍での町の対応は

## 町長 各課一丸で取り組む



ふなやま しゅんいち  
船山 俊一 議員

新型コロナウイルスの影響が長期化し、町内の中小企業や個人事業主等が、倒産や廃業する事態に陥れば、失業者は増え、地元産業や地域経済は疲弊し、町の衰退にもつながるため、早期の対策が必要である。

さらに新型コロナを機とした、本町の観光戦略及び観光推進体制の見直しなどの観点から、町長に問う。

**問①** 新型コロナウイルスの影響により、厳しい生活や経営状況に置かれている住民・事業者は少なくない。

町は、住民全体の暮らしと地域経済を支えていく観



運航が再開した阿武隈ライン舟下り

点に立ち、子育て世帯や事業者、被災者等に対し、第2弾の町独自の緊急支援事業を進めるべきではないか。

**答①** 住民の暮らしを守るための更なる支援の必要性は、議員と同様の考えである。今後の追加支援については、現在各課一丸で検討を進めているが、商工会等との情報共有などにより、効果的な支援にしていく。

**問②** 県南を訪れる外国人旅行者は、新型コロナウイルスの影響を受け、ゼロに近い状況等を踏まえ、観光戦略を見直し、ターゲットを日本人観光客に定め、旅行需要の喚起を図ることは重要である。

併せて、新型コロナウイルス感染症対策を強化し、滞在環境の整備や観光コンテンツの開発など、コロナ禍での新たな観光戦略を、早急に検討すべきではないか。

**答②** 総務省事業の地域力創造アドバイザー制度を活用し、専門的知識・知見等による観光資源の拡充や創出等を図るなど、今後の本町の観光戦略を検討していく。

**問③** 令和3年度からの、町内観光施設の指定管理者の選定に向けては、民間企業の事業参入も含め、検討を進めるべきではないか。

**答③** 町の観光産業の持続・発展のため、民間企業の参入も見据え、公募による管理者選定が必要と考える。

# 安全と復興の両立を

## 町長 早期に排水強化を実現



みやもと しょうお  
**宮本 昭雄** 議員

**問①** 町中心部と金山・小斎の浸水要因をどう検証したか。

阿武隈川合流部の堆砂が大量だが、本流の流れが阻害されると、支流の流下にも影響が及ぶ心配がある。

**答①** 過去に類がない6時間300mm超の強雨により、土石流や流木の発生で堤防侵食や越水での破堤が原因と見ている。

国の工事で、阿武隈川本流と支流の河道掘削や支障木撤去が行われるので、川の水位低下と、流下能力が大きく高まると考える。

**問②** 排水樋管からの逆流防止弁は適正に機能したか。

不都合箇所はないか。

**答②** 内川や雉子尾川などに町管理の樋管は20箇所ある。それぞれ管理人を依頼し毎年点検を行っており、台風時にも適正に機能したと判断している。

台風後に確認したが、土砂により機能不十分になった箇所があるので、改修して万全を図る。

**問③** 中心部の内水氾濫防止を強化する内容を示せ。

また完成までの排水対策はどうするのか。

**答③** 既存の排水ポンプは令和3年度中にすべて復旧させる。その間は設置済みの仮設ポンプと移動ポンプ車で排水能力を確保する。

更に増強するポンプ場と、直接阿武隈川に放流するバイパス水路を令和5年度まで整備し、中心部の冠水をなくし、安全を確保したい。

**問④** 災害復興やコロナ感染症の終息を見据えた新たな観光戦略を見直すべきではないか。

また、ダメージが大きい町観光物産振興公社の経営継続強化を図るべきだと考えるがどうか。

**答④** 今後の観光動向の変化を注視し、広域連携を図った戦略を検討する。

また、公社へコロナ影響の緊急支援として5000万円を予算化した。不採算部門の観光船は、廃止もやむを得ない選択と考える。



早くも着工：国の内川土砂撤去工事（丸森地区）

# へこたれない町民のために

## 町長 生活再建を支援する



いちじょう 一 條 議員

**問①** 困っていた時、突然訪問し助けてもらった。令和元年東日本台風で、町や社会福祉協議会の職員は自らも被災しながら仕事をやり直し、住民に寄り添い、社会の中の役割を果たした。被災者支援について町と社協の連携を問う。

**答①** 社協内に「丸森町災害ボランティアセンター」と「地域支え合いセンター」を開設した。ボランティアの支援は、被災者宅の復旧、復興の大きな支えになった。また、支え合いセンターの5人の生活相談支援員は仮設団地等を訪問し、相談・物資配給などをしながら生



復旧した阿武隈川運動公園

活再建に向けて連携を図っている。

**問②** 町内のグラウンドは災害ゴミの集積所になり、運動のできる場所が少なくなった。五福谷川沿いには桜並木やベンチがあり、近くの広場では老人クラブの

人たちがグラウンドゴルフを楽しんでいた。その全てが台風により流されてしまった。

それでも地域みんなが集う場所を作ろうとしている。将来的に、水害を忘れないための「復興広場」にしてもよいと思う。

また、スポーツをして大きな声を出して喜び、楽しむことが町の復興の大きな力になる。コロナ対策の安全マニュアルを示し、スポーツを奨励してどうか。

**答②** これまで各種スポーツの振興に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの講座や大会を中止せざるを得ない状況だ。感染防止対策の方針等を踏まえ、段階的にスポーツ活動を推進・奨励していく。

**問③** 新型コロナウイルスに伴う町の商業や教育をどうする。

**答③** 宮城県の休業要請等に応じた事業者へは、県の協力金や、一定以上の減収には、町独自の支援金を支給するなど、一人も取り残さない支援を行う。

学校は、児童生徒1人1台のタブレットを配布するGIGAスクールの実現を進める。



# 住民に寄り添った町政を

## 町長 町民の声に耳を傾ける



あきのり  
山本 明德 議員

「復興の主体は町民一人ひとりである」という理念の実現を目指した、町長の姿勢を問う。

**問①** 災害とコロナ禍という難局を乗り越えるには、児童の変化に地区単位で対応できる既存の小学校が最善である。小学校再編時期の凍結と、住民合意を尊重して進めるべきと思うがどうか。

**答①** 再編時期を令和4年4月に延期し、再度保護者説明会及び住民説明会を開催するとともに、今後1年間かけて合意を得られるように努力していく。

**問②** 向原住民が立案した防災集団移転計画を取り上げなかったことは、復興の根本理念にかかわる問題である。早期に国への指導助言を求めていれば実現は可能であった。防集移転事業を、復興計画にも明記すべきではないか。

**答②** 町の対応が住民の要望に対してずれがあり、防集移転事業については、町として課題があったとらえている。

災害危険区域指定を伴う防集移転事業は、移転を希望する住民の意向のみでは実施できないと考えており、町独自の施策を通して、住民の負担が少なくなるよう支援していく。

**問③** 2月に町が実施した住宅再建意向調査では、被災住民の多くが元の地区に留まり、現地再建を希望している。各地区においても必要な災害公営住宅を供給すべきではないか。

**答③** 災害公営住宅への入居希望者は、現地再建に不安を抱えている方が多いと考える。将来、町営住宅として活用する可能性も考え、防災・防犯面での安全・安心と併せて生活上の利便性

に優れた場所として、神明地区を中心とした場所を検討している。なお、雨水ポンプ施設の増強等で、内水氾濫に対する排水対策を万全にする。



ポリ袋を利用した非常食作り（筆甫小学校親子防災教室）

# 一人10万円の支払い状況は

**町長** 6月4日で83%支払い



いたばし  
**板橋**

いさむ  
**勇** 議員

コロナウイルス感染症緊急経済対策について問う。

**問①** 特別定額給付金の申請には、本人確認の書類として免許証や通帳等の写しが必要になるが、高齢者には困難に思える。

また、認知症や施設入所者等の申請漏れが心配されるが、これらの対応を問う。  
**答①** 世帯主が申請できない場合は、同世帯の方や法定代理人、親族等で、当該世帯主の身の回りの世話をしている方が代理申請できる。

**問②** 申請書が期限内に提出されない場合が想定される。町として未提出者に再度確認すべきと考えるがどうか。  
**答②** 本年8月13日が期限であり、申請しないと受給を辞退したとみなされるため、今後さらに周知広報に努める。

**問③** 現在までの申請と給付状況を問う。  
**答③** 5月15日から受付を開始し、5月26日から振込みを開始した。申請受付件数は4473件で、6月4日現在で4227件、1億5460万円の振込みを完了している。

**問④** 農家に対する新支援制度として、国の第一次補正予算では、コロナウイルスで売上げが減った国産牛肉や水産物等の販売促進に1400億円が充てられた。具体的な支援内容を問う。  
**答④** 国は販売不振で売り上げの減少している牛肉や果物等を、販売促進のために農林漁業団体が農畜産物を購入して、学校給食への提供やネット販売等を行う取組に対し、定額又は2分の1を補助する事業を設けた。

宮城県ではこの事業を活用し、県産牛肉を学校給食の食材として、1食あたり10081000円を上限に年3回程度、無償提供する。



8月13日の締切が迫る特別定額給付金申請

# 2次災害予防策を早急に

## 町長 即効性ある対応する



おおつき まさよし  
大槻 正儀 議員

令和元年東日本台風で被災した道路の、仮復旧時に発生した土砂や流木は、道路わきに積まれたままで道路側溝に土砂が入り機能を失っている。

梅雨の時期になると、東日本台風の2次災害が心配される。災害を最小限にするための提案と、今後の道路管理について質問する。

**問①** 災害復旧の遅れは、再被害が住民に及ぶ心配がある。緊急にまちづくりセンターごとに、地区内の生活道路の点検と、特に側溝の点検と必要箇所の土砂払いを、住民の理解と協力によ

り、地区をあげて実施してはどうか。

**答①** 国の災害復旧事業に該当しない被災箇所や、今後災害の発生が心配される場所は、地元道路愛護会などと連絡調整を行いながら効果的で、即効性のある対応を行う。

農業用排水路と兼用の道路側溝が被災した箇所は、農業施設災害に該当する場合はあるので、農地災害と合わせて確認作業を進めている。

**問②** 道路愛護会はおよそ行政区単位に組織されているが、活動の範囲や内容、構成員数や年代、職業など様々である。

行革の観点や官民一体の協働のまちづくりを更に進化させるためにも、行政区単位に加えて、まちづくりセンターでも機械力による活動を支援する仕組みなど、道路管理の新たな方法を作る考えはあるか。

**答②** 道路愛護会の活動は重要だ。地域づくりは、住民、各種団体、町が知恵を出し合い、責任と役割を共有し、協力して課題に取り組むことが必要である。

今後の生活道路の維持管理方法については、官民連携による具体的な取組み方を、住民自治組織と協議検討する考えでいる。



側溝が土砂で埋まったままの町道（耕野地区）

# 長が回答しました

## 通した議会要望への回答

### 復興財源を確保する

**要望** 誰一人取り残さない復興を成し遂げるため、安定財源確保と企業版ふるさと納税の推進を進めること。

**回答** 国庫補助金等財政支援を受けて事業を遂行するとともに、財源が乏しい事業への財源確保として企業版ふるさと納税を積極的に活用していく。

### 阿武急全線開通を目指す

**要望** 阿武隈急行が果たす役割は将来においても重要である。全線開通に努めること。

**回答** 阿武隈急行は町民にとって重要な交通手段である。早期復旧に向け、阿武隈急行株式会社及び沿線自治体と協議を重ねるなど、鋭意取り組んでいく。



増便に備え回送する阿武急車両

### 災害時の被害軽減を図る

**要望** 防災計画とハザードマップの改訂を行い、確実な町民への浸透で非常時の素早い行動につながるよう努めること。

**回答** 改訂には一定の時間を要する。「防災講話」などを開催して災害時の迅速な避難行動の周知を図り、発災時の被害軽減に努める。

### 営農再開を支援

**要望** 被災農家の早期営農再開に向けた農地復旧と各種支援を急ぐこと。

**回答** 農業機械やハウスなどの施設再建にいち早く取り組んでいる。農地復旧を急ぐほか、畜産粗飼料の確保対策などを行いながら、早期の営農再開と経営安定につながる支援を行う。



担い手づくり支援事業で復興した育苗・野菜ハウス（大内地区）

# 町の要望に町の議会

## 令和2年度予算審査を

### 生活優先の復興推進

**要望** 復旧・復興計画実践では生活再建を急ぎ、人口減少につながらないよう取り組むこと。

**回答** 一日も早く町民が安らげる暮らしの再建に向けた計画とする。

住まいの再建等を支援し、安心して生活できるまちづくりで定住を促していく。

### 病床を効率活用する

**要望** 病院の一般・包括ケア・療養病床の役割を活かし、町民の健康増進と経営改善を図ること。

**回答** 急性期医療、在宅復帰支援、慢性期治療病床の機能を最大限活かしながら、全身を診る医療と予防医学につながる病院経営を実践する。

### 観光施設を早期に復旧

**要望** 商工業や観光施設の早期復旧復興を図り、活力再生と雇用維持に努めること。

**回答** 商工業に関しては、商工会や商工業者等と連携し、地域経済の活性化に向け、支援をしていく。

また、観光施設のうち、特に被害が甚大な不動尊公園キャンプ場及び産業伝承館は、早期復旧に努める。

### 直接放水路を整備

**要望** 内水対策の強化を図り、安全安心な住まいの確保に、早期に取り組むこと。

**回答** 内水対策は、現有排水ポンプの機能回復を図るとともに、雨水配水計画を見直し、新たな雨水ポンプ場及び直接放水路の整備による、排水能力の強化を図る。

町中心部は、早期の事業完了を目指し最善を尽くす。

### 住民理解を深めて再編

**要望** 小学校の再編統合に向けては、保護者や地域住民の理解を得て進めること。

**回答** 再編の基本方針は、概ね了承されたものと認識している。

再編時期に関しては一年延期することから、再度、保護者及び住民説明会を開催するとともに、保護者の協力が得られるよう、意見等を聞きながら進める。



給水施設が大破した産業伝承館（あぶくま駅）



仮設ポンプの設置で排水能力を確保



## あたたかい地域に抱かれて

大内地区

三浦昌志さん

Q ご出身はどちらですか。丸森での活動の動機は何ですか。

A 神奈川県出身です。東日本大震災のボランティアで、宮城と岩手を訪れた時、東北人の心の温かさを知り、その中で生活できればと思うようになり、丸森の地域おこし協力隊の情報を見て、現地も訪ねて、ここだと決心し応募しました。

Q 今までどのような配慮をして、協力隊活動を行ってきたのですか。

A 私が思う地域おこしは「普段の生活の中から、自然に活力や元気が生まれる地域づくり」だと思っています。押し付ける事ではなく、地域の方々の意見や考えを尊重した活動の心がけてきました。

Q 丸森での暮らしはどうか。

A お米や野菜が美味しく、星もきれいで毎日楽しく癒されながら生活しています。最高です。

Q 今後の抱負をお聞かせください。

A 大内地区を中心に困りごと解決事業として、各種事務の支援やパソコンスキルアップの依頼に応えています。屋敷回りの草刈り等、できることは何でもしようと思っています。今後は丸森町内広く事業展開していると考えています。

Q 最後に、議会や町に望むことは。

A 大災害からの復興が一日も早く成し遂げられるよう願っています。

(宮本 昭雄 委員)

### 次の議会は、 9月1日(火)より開会予定です

午前10:00～

- ※日程は変更になる場合があります。
- ※本会議の日程は、後日、町ホームページでお知らせいたします。
- ※新型コロナウイルス感染の状況により、傍聴を制限する場合があります。

お問い合わせ先 議会事務局まで ☎72-3038 [直通]

### 議会映像を配信しております

町民の皆さんに議会と町政に関心を持っていただくため、議場での本会議の映像をインターネットで配信（ライブ中継）しております。また、インターネットでは、過去の一般質問の録画映像を視聴することもできます。丸森町議会ホームページよりご覧願います。

丸森町議会中継

検索

### 表紙のひとば

不動尊公園キャンプ場でバーベキューをしているところにお邪魔しました。

「丸森が大好きです」と、丸森産米で仕込んだ日本酒「賜候」とえごまドレッシングを手にしていました。この日は3組の友人家族でコテージを予約し、ゆっくり過ごして明日への英気を養うとのこと。とてもアットホームな仙台からの皆さんでした。

不動尊公園キャンプ場は、台風で大きなダメージを受けましたが、多くのボランティアの皆さんの支援で再開にこぎ着けました。丸森大好きな皆さんが、これまで以上に増えることを願っています。

(山本明徳 委員)

### 議会広報常任委員会

委員長	大槻 正儀
副委員長	鈴木美智子
委員	金森 裕之
	山本 明徳
	船山 俊一
	宮本 昭雄



環境に優しい植物油インキを使用しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。